

「Japan Mobility Show Bizweek 2026」に出展

～「エネルギーをつなげる」「ひとをつなげる」をテーマに共創パートナーを募集～



ダイハツ工業株式会社(以下、ダイハツ)は、2026 年 10 月 13 日(火)から 10 月 16 日(金)まで、幕張メッセ国際展示場(千葉県千葉市美浜区)で開催される「Japan Mobility Show Bizweek 2026〔主催：一般社団法人日本自動車工業会(以下、自工会)〕」に出展します。本イベントは、モビリティ関連企業と次世代を担うスタートアップ企業によるビジネス共創を生み出すイベントです。ダイハツブースでは、ブランドメッセージである「わたしにダイハツメイ。」のもと、自工会が掲げる「新 7 つの課題」に対応した 6 つの展示を実施します。

今回の出展では、「エネルギーをつなげる」「ひとをつなげる」の 2 つのテーマのもと、カーボンニュートラルの実現や地域課題の解決に向けた取り組みを紹介するとともに、社会実装に向けた新たな共創パートナーとの連携を目指します。

「エネルギーをつなげる」では、今回実機としては初公開となる「アンモニア／水素混焼エンジン」をはじめ、昨年から実証実験を推進している BEV を活用した「地域マイクログリッド」や、滋賀(竜王)工場で取り組んでいる「地域資源循環プロジェクト カーボンニュートラル燃料(バイオガス)の開発」に関する展示を行い、中でもアンモニア／水素混焼エンジンについては、アンモニア改質、排ガス浄化、小型化、安全技術、供給インフラなどの課題をともに解決するパートナーを募集します。「ひとをつなげる」では、AI・デジタル技術を活用したサービス・業務変革に関する取り組みや、福祉・介護領域における地域の移動課題を紹介し、自治体や福祉・介護事業者、交通事業者、デジタル関連企業などとの連携を進めます。

<自工会 合同展示>

・アンモニア／水素混焼エンジン エンジン実機展示

<ダイハツブース展示>

テーマ：エネルギーをつなげる	テーマ：ひとをつなげる
【実機初公開】アンモニア／水素混焼エンジン	【初公開】「DAIHATSU×stAile」(ダイハツ×スタイル)
BEV を活用した地域マイクログリッド	技術を育て、AI を社内へ「D-AI-hatsu Vision」
地域資源循環プロジェクト カーボンニュートラル燃料(バイオガス)の開発	福祉介護・共同送迎サービス「ゴイッショ」

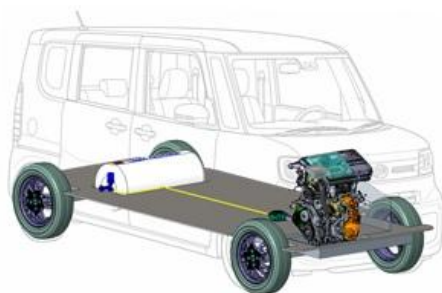
ダイハツは今後も、お客様に寄り添いながら、カーボンニュートラルの実現や地域・社会における人と人とのつながりの創出に貢献し、「モノづくり」と「コトづくり」の両輪で取り組みを進めてまいります。

<出展内容>

1.エネルギーをつなげる

【アンモニア／水素混焼エンジン】(実機初公開)

液化が容易でエネルギー密度が比較的高く、水素の運搬媒体として期待されているアンモニアを活用し、カーボンニュートラル燃料の選択肢を広げる取り組みです。専用のタンクに充填したアンモニアの一部を、エンジン上部に取り付けたプラズマリアクターや触媒を用いて水素に改質し、燃えにくいアンモニアと混焼することで、航続距離の確保と安定した燃焼の両立を図ります。自工会合同展示ブースでは、開発中のアンモニア／水素混焼エンジンを実機展示します。



<アンモニア／水素混焼システムの車両搭載イメージ>



<アンモニア／水素混焼エンジン>

【BEV を活用した地域マイクログリッド】

太陽光発電や蓄電池、BEV を組み合わせた、直流主体のマイクログリッドシステムです。電力変換器「Smart Power Hub® (SPH®^{※1})」などを移動可能なコンテナに集約するとともに、BEV を「移動可能な蓄電池」として活用します。平常時には電力需要のピークを抑え、CO₂排出量低減に貢献するとともに、災害時に系統電力が遮断された場合でも電力供給を行うことで、公共サービス等の継続を可能にします。

※1 「Smart Power Hub」および「SPH」は株式会社豊田中央研究所の登録商標です。

【カーボンニュートラル燃料(バイオガス)】

滋賀県竜王町の耕種農業・畜産業・工業(自動車製造)が連携し、町内のバイオマス資源を循環させる取り組みです。近江牛の牛ふんから生成したバイオガスを自動車工場のカーボンニュートラル燃料として利用し、発酵後に残る堆肥や液肥を農業に活用します。

2.ひとをつなげる

【DX アプリ「DAIHATSU×stAile」(ダイハツ×スタイル)】(初公開)

ブースで撮影した来場者の服装や色合い、雰囲気をも AI が解析し、ダイハツの歴代車から一人ひとりにぴったりの 1 台を提案する体験型アプリです。来場者と提案されたクルマが並ぶオリジナルイラストを AI が生成し、QR コード^{※2}を通じてスマートフォンにプレゼントします。

※2 QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

【技術を育て、AI を社内へ「D-AI-hatsu Vision」】

専門知識がなくても、製造現場の担当者が AI を活用した検知システムを構築・実装できるよう、人材育成を通じて社内に広く AI を普及させるプロジェクトに関する展示です。データの前処理から工場設備への実装までを支援するノーコードツール「D-AI-hatsu Vision」を内製し、DX 推進組織が伴走することで、現場自らが AI モデルを作成し、自工程の品質保証度向上や工数削減に役立てています。

【福祉介護・共同送迎サービス「ゴイッショ」】

ダイハツが展開する「ゴイッショ」は、福祉・介護施設ごとに行われている送迎業務を地域で共同化する「共同送迎サービス」を起点に、福祉・介護人材不足の緩和と、移動困難者の移動手段確保を支援する仕組みです。

地域内の車両やドライバーを効率的に活用することで、福祉・介護施設の送迎負担を軽減するとともに、持続可能な地域交通の構築につなげます。

以上